

# 一般質問

## 問 病児・病後児保育の実施を

### 答 平成31年度からファミサポで



水野 千代子 議員

子どもの病気はいつおこるか分からない。病気時・病気回復期にある子どもを一時預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援することができる。

**問** 県内で病児・病後児保育を実施している自治体は。

**答** **〔住民子ども部長〕** 平成29年4月1日時点で、県下54市町村中、37市町村である。

**問** 保育時に、保護者に緊急な連絡はどのくらいか。

**答** 8園全体で、1043件、発生している。

**問** 病児・病後児保育の実施を。

**答** 本年度に計画を進め、平成31年度にファミリースUPPORTセンター(ファミサポ)で実施する。

**問** 医療的ケアが必要な子どもの受け入れは。

**答** 酸素吸入が必要な、年

中の園児が1人いる。  
**問** 保育園も男性保育士の役割はある。現況と考えは。

**答** 園での力仕事である。

現在、正規の保育士11人  
嘱託保育士3人である。  
女性保育士にとっても、  
刺激になり好まれている。



元気な笑顔で(深溝保育園)

**問** 多様な性を認める男性女性を認める

**答** 策定を優先させる

そのうち2人で、4.5%である。

**問** 男性職員の育児休業の目標値と現況。

**答** **〔企画部長〕** 平成32年度13%の目標であるが、現在ゼロである。

**問** プラン策定のスケジュールは。

**答** 施策の体系、展開を図り、素案を作成し1月ごろまで実施し、来年度末までに、計画策定する。

**問** LGBT(性的少数者)を含めた「男性・女性・多様性を認める条例」の制定を。

**答** プランの策定を優先させていき、多様性も含めた幅広い視点で、検討していく。

**答** **〔住民子ども部長〕** 29団体で、25.07%である。

**問** 女性管理職の登用率は、

**答** 主幹以上44人いるが、

# 一般質問



丸山 千代子 議員

## 問 今こそ非核平和宣言を

## 答 平和都市宣言の形で考えたい

非核平和宣言は、核兵器の廃絶と平和の実現を目指して宣言するもの。昨年、国連で核兵器禁止条約が採択された。

**問** 核兵器禁止条約に対する町長の見解は。

**答** **町長** 国策として、こういう現状にあるということだけ、承知をしておきたい。

**問** 唯一の被爆国である日本は背を向けた。核兵器禁止条約を批准するよう働きかけを。

**答** 国がそういうふうな形をとっているので、私からは、控えたい。

**問** 核兵器の廃絶を求める「ヒバクシャ国際署名」に署名を。

**答** もう少し内容をよく検討して考えたい。

**問** 悲惨な戦争を風化させないためにも、平和の大切さを次世代に伝える平和行政の推進を。

**答** **企画部長** 幸田中央公園に、被ばく樹木2世の苗木の植樹を計画している。また、原爆パネルを展示するとか、イベントなどに取組んでいきたい。

**問** 5月に被爆樹木を植樹

する。今こそ非核平和宣言を。

**問** 食物アレルギー対応室の設置を

**答** 設置の予定はない

児童・生徒数の増加で、学校給食センターの増築が計画されている。すべての子どもに給食を提供するため、食物アレルギー対応室の設置を問う。

**問** 食物アレルギーを有する児童・生徒数は。

**答** **教育部長** 小・中学生合わせて128人。

**問** 学校給食センターで食物アレルギー対応は。

**答** アレルギーを持っていない子全部に対応できていない。

**問** 食物アレルギーを有す

る児童・生徒に給食の保障を。

**答** 関係機関との連携、医師の診断に基づく対応、アレルギーの無いデザートを代替えて提供するなど、県の5つの基本方針に基づき対応。

**問** 県下の食物アレルギー対応室の設置状況。

**答** 西三河10市内、4市がセンター方式、2市

が学校方式で実施。4市町は実施していない。

**問** 知立市は、調理能力30食、25㎡の専用室がある増築計画に盛り込み食物アレルギー対応室の設置を。

**答** 今回は、児童・生徒の増加に伴う最低限の増築で、食物アレルギー対応室設置の予定は無い。



学校給食センターの増築部分